

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【公開番号】特開2012-50867(P2012-50867A)

【公開日】平成24年3月15日 (2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2011-246331(P2011-246331)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月9日 (2012.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の演出手段を少なくとも制御可能な演出制御手段を  
備えた遊技台であって、  
前記演出制御手段は、C P Uを少なくとも含んで構成されたものであり、  
前記演出制御手段は、期間情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、  
前記演出制御手段は、制御情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、  
前記期間情報記憶手段は、期間情報が少なくとも記憶されたものであり、  
前記制御情報記憶手段は、制御情報が少なくとも記憶されたものであり、  
前記期間情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する期間に関する情報を少  
なくとも含むものであり、  
前記期間情報は、前記複数種類の演出手段で共通の形式をしたものであり、  
前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する内容に関する情報を少  
なくとも含むものであり、  
前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれに少なくとも対応する形式をした  
ものであり、  
前記演出制御手段は、第一の制御を少なくとも実行可能なものであり、  
前記演出制御手段は、第二の制御を少なくとも実行可能なものであり、  
前記演出制御手段は、第三の制御を少なくとも実行可能なものであり、  
前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第一の種類の演出  
手段であり、  
前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第二の種類の演出  
手段であり、  
前記第一の種類の演出手段は、前記第二の種類の演出手段とは異なる種類の演出手段で  
あり、  
前記第一の制御は、前記期間情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むも  
のであり、

前記第二の制御は、第一の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、

前記第三の制御は、第二の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、

前記第二の制御は、前記第二の制御情報を参照する処理を少なくとも含まないものであり、

前記第三の制御は、前記第一の制御情報を参照する処理を少なくとも含まないものであり、

前記第一の制御情報は、前記第一の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、

前記第二の制御情報は、前記第二の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、

前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一つの前記演出手段は、報知手段であり、

前記期間情報記憶手段は、前記報知手段に対応する期間情報セット（以下、第一の期間情報セットという。）が少なくとも記憶されたものであり、

前記第一の期間情報セットは、複数の前記期間情報（以下、複数の期間情報という。）を少なくとも含んで構成されたものであり、

前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第一の期間情報であり、

前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第二の期間情報であり、

前記演出制御手段は、第四の制御、第五の制御の順に少なくとも実行可能なものであり、

前記第四の制御は、前記第一の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、

前記第五の制御は、前記第二の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、

前記第二の期間情報は、前記第一の期間情報とは異なるものである、  
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の遊技台であって、

前記期間情報記憶手段は、一の種類の前記演出手段に対応する期間情報セット（以下、第二の期間情報セットという。）が少なくとも記憶されたものであり、

前記第二の期間情報セットは、前記第一の期間情報セットとは異なるものである、  
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の遊技台であって、

前記第二の期間情報セットは、前記報知手段に対応するものである、  
ことを特徴とする遊技台。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の遊技台であって、

前記第一の期間情報と前記第二の期間情報は、前記期間情報記憶手段において連続する記憶領域に記憶されている、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の遊技台であって、

前記報知手段は、ランプであり、

前記第一の期間情報は、前記ランプを制御する期間に関する情報を少なくとも含むものであり、

前記第二の期間情報は、前記ランプを制御する期間に関する情報を少なくとも含むもの

である、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 6】

請求項 1～4 のいずれかに記載の遊技台であって、

前記報知手段は、スピーカであり、

前記第一の期間情報は、前記スピーカを制御する期間に関する情報を少なくとも含むものであり、

前記第二の期間情報は、前記スピーカを制御する期間に関する情報を少なくとも含むものである、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 7】

請求項 1～6 のいずれかに記載の遊技台であって、

前記第一の種類の演出手段は、ランプを少なくとも含むものであり、

前記第二の種類の演出手段は、スピーカを少なくとも含むものである、

ことを特徴とする遊技台。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の遊技台であって、

前記第一の制御情報は、前記ランプの輝度情報、前記ランプの点灯および消灯の情報を含む点灯情報、前記ランプのデューティ情報のいずれかを少なくとも含むものであり、

前記第二の制御情報は、前記スピーカのチャンネル情報、前記スピーカのフレーズ情報、前記スピーカのボリューム情報、前記スピーカのパン情報のいずれかを少なくとも含むものである、

ことを特徴とする遊技台。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技台は、複数種類の演出手段を少なくとも制御可能な演出制御手段を備えた遊技台であって、前記演出制御手段は、CPUを少なくとも含んで構成されたものであり、前記演出制御手段は、期間情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、前記演出制御手段は、制御情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、前記期間情報記憶手段は、期間情報が少なくとも記憶されたものであり、前記制御情報記憶手段は、制御情報が少なくとも記憶されたものであり、前記期間情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する期間に関する情報を少なくとも含むものであり、前記期間情報は、前記複数種類の演出手段で共通の形式をしたものであり、前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する内容に関する情報を少なくとも含むものであり、前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれに少なくとも対応する形式をしたものであり、前記演出制御手段は、第一の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記演出制御手段は、第二の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記演出制御手段は、第三の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第一の種類の演出手段であり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第二の種類の演出手段であり、前記第一の種類の演出手段は、前記第二の種類の演出手段とは異なる種類の演出手段であり、前記第一の制御は、前記期間情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第二の制御は、第一の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第三の制御は、第二の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第二の制御は、前記第二の制御情報を参照する処理を少なくとも含まないものであり、前記第三の制御は、前記第一の制御情報を参照する処理を少なくとも

含まないものであり、前記第一の制御情報は、前記第一の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、前記第二の制御情報は、前記第二の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一つの前記演出手段は、報知手段であり、前記期間情報記憶手段は、前記報知手段に対応する期間情報セット（以下、第一の期間情報セットという。）が少なくとも記憶されたものであり、前記第一の期間情報セットは、複数の前記期間情報（以下、複数の期間情報という。）を少なくとも含んで構成されたものであり、前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第一の期間情報であり、前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第二の期間情報であり、前記演出制御手段は、第四の制御、第五の制御の順に少なくとも実行可能なものであり、前記第四の制御は、前記第一の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、前記第五の制御は、前記第二の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、前記第二の期間情報は、前記第一の期間情報とは異なるものである、ことを特徴とする遊技台である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0137

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0137】

本実施例に係るパチンコ機 100 によれば、演出手段の動作状態などを考慮して他の演出手段の演出制御を行うことができるため、従来よりも複雑な演出制御が可能で、演出効果を高めることができる場合がある。

また、本実施例に係る遊技台（例えば、パチンコ機 100）は、複数種類の演出手段を少なくとも制御可能な演出制御手段を備えた遊技台であって、前記演出制御手段は、CPU を少なくとも含んで構成されたものであり、前記演出制御手段は、期間情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、前記演出制御手段は、制御情報記憶手段を少なくとも含んで構成されたものであり、前記期間情報記憶手段は、期間情報が少なくとも記憶されたものであり、前記制御情報記憶手段は、制御情報が少なくとも記憶されたものであり、前記期間情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する期間に関する情報を少なくとも含むものであり、前記期間情報は、前記複数種類の演出手段で共通の形式をしたものであり、前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれを制御する内容に関する情報を少なくとも含むものであり、前記制御情報は、前記複数種類の演出手段のそれぞれに少なくとも対応する形式をしたものであり、前記演出制御手段は、第一の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記演出制御手段は、第二の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記演出制御手段は、第三の制御を少なくとも実行可能なものであり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第一の種類の演出手段であり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一の種類の演出手段は、第二の種類の演出手段であり、前記第一の種類の演出手段は、前記第二の種類の演出手段とは異なる種類の演出手段であり、前記第一の制御は、前記期間情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第二の制御は、第一の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第三の制御は、第二の制御情報の少なくとも一部を参照する処理を少なくとも含むものであり、前記第二の制御は、前記第二の制御情報を参照する処理を少なくとも含まないものであり、前記第三の制御は、前記第一の制御情報を参照する処理を少なくとも含まないものであり、前記第一の制御情報は、前記第一の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、前記第二の制御情報は、前記第二の種類の演出手段に少なくとも対応する形式をしたものであり、前記複数種類の演出手段のうちの少なくとも一つの前記演出手段は、報知手段であり、前記期間情報記憶手段は、前記報知手段に対応する期間情報セット（以下、第一の期間情報セットという。）が少なくとも記憶されたものであり、前記第一の期間情報セットは、複数の前記期間情報（以下、複数の期間情報という。）を少なくとも含んで構成されたものであり、

前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第一の期間情報であり、前記複数の期間情報のうちの少なくとも一つの前記期間情報は、第二の期間情報であり、前記演出制御手段は、第四の制御、第五の制御の順に少なくとも実行可能なものであり、前記第四の制御は、前記第一の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、前記第五の制御は、前記第二の期間情報を参照して前記報知手段を少なくとも制御可能なものであり、前記第二の期間情報は、前記第一の期間情報とは異なるものである、ことを特徴とする遊技台である。

本実施例に係る遊技台によれば、演出手段の制御に使用するデータを、演出手段に依存しない共通データと、演出手段に依存する固有データに分けて管理することができる。このため、演出手段の仕様変更や演出手段の新規採用などが必要な場合でも、演出手段に依存しない共通データを流用しつつ、演出手段に依存する固有データのみを新たな演出手段に合わせて変更すればよく、演出手段の仕様変更や演出手段の新規採用などに柔軟に対応することができる場合がある。また、演出手段毎に設けられた期間情報セットから複数種類の期間情報を選択することができるため、制御部の制御負担を増加させることなく、演出手段に対する制御のバリエーションを増やすことができ、演出効果を高めることができる場合がある。また、制御の種類に応じて参照する制御情報と参照しない制御情報を区別しているため、演出手段の制御ミスを回避できる場合がある。